



# JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

## 尾関 守 名誉会長を偲んで

日本経営システム学会会長 山下 洋史

当学会名誉会長の尾関守先生（早稲田大学名誉教授）が、5月11日に97歳でご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

尾関先生は、当学会の前身「経営労働学会」の設立時（1981年）から会長を務められ、1992年に「日本経営システム学会」へと改称した後も長年に渡り当学会の会長として、当学会の発展に大きく貢献されました。こうした改称は、経営をシステムとして捉えるという、まさしく時代の潮流を先取りした英断でありました。これにより、工学・情報学と経営学・商学の両面で当学会の裾野を広げ、当学会における文理融合型研究の基盤を構築するとともに、当学会発展の礎を築かれました。

尾関先生は、常に「企業（あるいは組織）は人なり」ということを信念にされ、人を大切にされたマネジメントの重要性を説いてこられました。このような信念に基づき、尾関先生が専門とされる労務管理あるいは人的資源管理の研究を進められただけでなく、それを大学での教育でも実践され、1993年までの長きに渡り早稲田大学理工学部にて教鞭をとられてきました。こうした尾関先生の温かいご指導により、多くの実務家と研究者が育ち、当学会にも私を含め多くの尾関研究室門下生が所属しております。

一方、尾関先生は1988年より日本学術会議会員の要職を歴任され、日本学術会議経営学研究連絡委員会の幹事として活躍されました。その間、日本における経営学・経営工学・経営システム工学の発展に尽力されました。

このように、当学会における尾関先生の功績は非常に大きく、今後も我々会員一人一人が尾関先生の遺志を受け継いで、新たな研究に挑戦し、当学会を発展させていきたいと思っております。

最後に、当学会会員の皆様とともに、尾関先生のご冥福をお祈り申し上げます。

## 第64回全国研究発表大会開催にあたって

第64回全国研究発表大会 大会実行委員長 水上 祐治

会員の皆様におかれましては、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

千葉県習志野市の日本大学生産工学部におきまして「サイバーセキュリティと経営システム」を統一論題とした第64回日本経営システム学会全国研究発表大会を開催できますこと、実行委員一同大変光栄に思っており、会員の皆様には、経営システムの観点から日本が抱える様々な課題について活発な議論を行って頂けるよう、実行委員会として精一杯のサポートをさせていただくように準備を進めて参りましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、学会長・副会長をはじめ、大会実行委員会・大会委員会と理事会で慎重に開催の可否を検討した結果、会員の皆様の健康と学会の社会的責任を鑑み、やむなく「口頭発表」については中止させていただく運びとなりました。

今回お越しいただく予定でございました日本大学生産工学部は、京成電鉄本線京成大久保駅、JR津田沼駅から近く、日本の空の玄関口 成田空港も利用しやすい千葉県習志野市に位置しております。習志野市は「坂の上の雲」ゆかりの地として知られており、騎兵旅団司令部の跡地など史跡が多く残る土地柄、校内におきましても騎兵第14連隊の碑が祭られております。また、習志野市は全国に誇る名物グルメが

多数存在し、約 100 年前にドイツからその製造法が伝えられた習志野ソーセージ、隣町の船橋港で水揚げされる新鮮な江戸前の魚介類などがございます。機会がございましたら、明治時代の歴史ロマンに思いを馳せながらの史跡巡りと名物グルメをご堪能いただけることでしょう。

最後になりましたが、基調演説をご依頼申し上げておりました総務省の大森一顕様、特別講演をご依頼申し上げておりました株式会社リクルートテクノロジーズの鴨志田昭輝様、山下洋史学会長をはじめ、発表大会開催にご尽力いただきました理事と関係者の先生方に深く御礼申し上げます。また、IEEE Technology and Engineering Management Society からの協賛支援のお申し入れをいただいております。併せて感謝申し上げます。

---

## 会長からのご挨拶

---

日本経営システム学会会長 山下 洋史

第 64 回日本経営システム学会全国研究発表大会は、日本大学生産工学部のご好意により、同大学の津田沼キャンパスにて開催させていただくことになっておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、大会実行委員会・大会委員会と理事会で慎重に開催の可否を検討した結果、会員の皆様の健康と学会の社会的責任に鑑み、やむなく「口頭発表」については中止することにいたしました。この間、会場をご提供いただく予定であった日本大学生産工学部と、大会の準備を進められてきた水上祐治大会実行委員長をはじめとする実行委員会の皆様、永松陽明大会委員長をはじめとする大会委員長の皆様のご苦勞に報いることができず、非常に残念でなりません。

本来、学会の研究発表大会は、会員の日頃の研究成果を公表し、その内容を論議する貴重な機会を提供する場であります。今回は、こうした研究発表の場を提供することができなくなりましたが、発表予定者の研究をいち早く社会に公表すべく「第 64 回日本経営システム学会全国研究発表大会講演論文集」につきましては発行することにし、当学会として、この講演論文集に掲載された研究は正式な発表業績とすることに決定いたしました。また、当学会の活動に浸透した「学生発表優秀賞」についても、講演論文集の原稿のみの評価にはなりますが、表彰委員会で選考し、理事会の議を経て表彰することになっております。

当学会は、1981 年に経営労働学会として創立され、1992 年には「日本経営システム学会」に名称変更いたしました。それ以降、「経営を工学・情報科学・社会科学の横断的視点でデザインする」という目標を掲げ、「経営システム」の幅広い研究領域を開拓してまいりました。現在は、春秋 2 回の全国研究発表大会と、3 年に 1 回の国際大会を開催し、年 3 冊の和文誌と、1 冊の電子ジャーナル形式の英文誌を発行しております。

今後も、当学会での学術水準のさらなる向上を図るとともに、経営系学会としては異色の「文理融合」という特色を生かしながら、学会活動の活性化に向けた取り組みを展開していきたいと存じます。つきましては、当学会の発展に向け、会員の皆様のさらなるご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、新型コロナウイルスに会員の皆様が負けずにご健康を維持され、今年の秋に予定されている立命館大学での「第 65 回日本経営システム学会全国研究発表大会」において、活発な研究の議論が展開されるようになりますことを心より祈念いたします。

---

## 第 64 回全国研究発表大会講演論文集目次

---

### 一般セッション：

国際的スポーツイベント開催に対する期待と態度  
の定量分析：福島県の子ども達を対象として

- \* 千葉商科大学 櫻井 聡
- 横浜市立大学 柴田 典子
- 横浜市立大学 永松 陽明

スカート市場の低迷回復に関する一考察

- \* 文化ファッション大学院大学 山岡 真理
- 日本大学 鈴木 邦成
- 日本大学 水上 祐治

意思決定における納得に至る意思決定過程に関する分析— 実際の意思決定事例をもとに —

- \* 産業技術大学院大学 細田 貴明
- 東海大学 田畑 智章

動的メトリクス加速寿命試験モデルに対する Web  
ソフトウェア信頼性評価ツール

- \* 神戸学院大学 林坂 弘一郎

ファンドの投資成績の計測：対応のあるデータを  
利用した分析

- \* 愛知産業大学 丸山 宏

消費税の免税点近傍における利得最大化の試み

\*中京学院大学 浅井 達雄

仕様変更品対応に向けたかんばん方式の応用

\*名古屋大学 宮崎 卓

オンライン・サービス・インターフェースの壁を  
解消する要因に関する考察

\*立正大学 金森 孝浩

大学マーケティング教育におけるデザイン思考適  
用の研究

\*横浜市立大学 永松 陽明

横浜市立大学 柴田 典子

発明原理を活用した対極類比アプローチによる創  
造手法の提案

\*三菱電機 織田 昌雄

立命館大学 澤口 学

作業プロセス情報の暗黙知への再変換に関する研  
究

\*三菱日立パワーシステムズ 赤城 弘一

立命館大学 澤口 学

高速道路事業（公共事業）におけるV E実施事例  
の一考察

\*首都高速道路 染谷 厚徳

立命館大学 澤口 学

地域製造業の海外生産拠点分析モデルの検証

\*山形大学 國分 一典

山形大学 野田 博行

山形大学 中島 健介

山形大学 小野 浩幸

山形大学 兒玉 直樹

東北大学 田中 陽一郎

愛知工業大学 終 紫乃

多変量時系列モデルによる半導体市場の変動解析  
—経済ショックが及ぼす影響—

\*HTM リサーチ インスティテュート 小川貴史

システム創造力向上のための機能展開法の効果と  
その教育法

\*早稲田大学 三原 康司

システム開発企業における組織分化と事業効率に  
関する一考察

\*上武大学 関川 弘

アクセス制御向けDatalakeカタログ自動拡張方式  
の提案—多様化する経営環境へのITシステム即  
応の一手法—

\*日立製作所 近藤 伸和

メタデータに基づくアクセス制御ポリシー適用支  
援の一検討

\*日立製作所 角井 健太郎

日立製作所 近藤 伸和

インベーター理論を活用したスコアリングによる  
革新的購入者の推定—SPCポイントに基づくユー  
ザ分類手法の検証—

\*ドゥ・ハウス 岩田 遼

青山学院大学 蔵本 薫

青山学院大学 熊谷 敏

消費者の独自性欲求がインスタ映え画像の投稿意  
向に与える影響

\*法政大学 木暮 美菜

法政大学 諸上 茂光

エッセンシャルオイルの利用における男女差に基  
づくジェンダードイノベーション

\*芝浦工業大学 平田 貞代

ブレインライティングに基づくアイディア発想手  
法の研究

\*日本文理大学 泉 丙完

ビジネスプロセスの可視化デモンストレーション  
の試み

\*福島工業高等専門学校 横井 久美子

外食産業におけるチェーン化のジレンマ

\*リッパ建設 池田 大輔

デジタルサイネージによる広告効果の実証方法の  
検討

\*摂南大学 久保 貞也

コア・コンピタンスの形成プロセスに関する考察  
—アリババグループの事例を中心に—

\*共栄大学 馮 晏

経営品質科学研究部会：社会貢献型ローカル企業  
におけるSDGsと業績の間のシナジー

\*山梨学院大学 金子 勝一

明治大学 山下 洋史

明治大学 萩原 統宏

経営品質科学研究部会：日本の「非都市型高COD湖  
沼」に関する研究

\*明治大学 山下 洋史

経営品質科学研究部会：日韓関係に関する合意形  
成の「非連続型6つの解モデル」

\*明治大学 権 善喜

明治大学 山下 洋史

福知山公立大学 鄭 年皓

経営品質科学研究部会：国際的資源に関する一  
考察—文化的知性の観点から

\*釧路公立大学 曾我 寛人

経営品質科学研究部会：「経営システム」研究に  
おける低エネルギーと高エントロピーの研究視座

\*明治大学 山下 洋史

明治大学 姜 依凡

明治大学 萩原 統宏

経営品質科学研究部会：京都府北中部の双子都市  
に関する研究

\*福知山公立大学 鄭 年皓

明治大学 山下 洋史

山梨学院大学 金子 勝一

経営品質科学研究部会：熟練職種労働者育成の条  
件に関する概念モデル

\*産業能率大学 高坂 一郎

経営品質科学研究部会：平準化と在庫の調和の視  
点に基づいた複数品目の複数計画期間に関する全  
体評価基準

\*気象予報士 栗原 剛

東京大学 川中 孝章

経営品質科学研究部会：北海道の地方交付税配分問題における因子ウェイトと配分比率の推定

\*釧路公立大学 曾我 寛人  
明治大学 山下 洋史

経営品質科学研究部会：説明変数と被説明変数に複数のタイム・ラグを考慮した研究開発活動成果分析モデル

\*明治大学 野尻 泰民  
明治大学 山下 洋史  
明治大学 萩原 統宏

経営品質科学研究部会：2つの集団におけるメンバーの最大到達距離と接続ノード数に基づく事前情報配分モデル

\*明治大学 山下 洋史  
東京大学 川中 孝章

学生セッション：

経営品質科学研究部会：中国のインターネット・ショッピングにおける低エネルギーと高エンタロピーの両立・調和フレームワーク

\*明治大学 姜 依凡  
明治大学 山下 洋史

経営品質科学研究部会：釧路管内の観光地における韓国人観光客増加に関する一考察—カラーマーケティングの観点から—

\*釧路公立大学 伊藤 綱康  
釧路公立大学 曾我 寛人

経営品質科学研究部会：化粧品品の購買行動に与える消費者心理に関する実証分析

\*釧路公立大学 長太 あゆみ  
釧路公立大学 曾我 寛人

経営品質科学研究部会：就職条件分類特性値に関する研究

\*明治大学 中新田 渉里  
明治大学 山下 洋史  
明治大学 萩原 統宏

現場作業の暗黙知を骨格分析とAIで形式知化する手法の研究

\*立命館大学 佐藤 孝則  
立命館大学 澤口 学  
三菱日立パワーシステムズ 赤城 弘一  
三菱日立パワーシステムズ 森下 武

病院の新築移転前後における看護師の作業環境の変化と課題

\*立命館大学 山田 眞佐美  
立命館大学 名取 隆

廃棄物処理業における従業員の生産性及び安全性に関する意識調査—建設業との比較—

\*立命館大学 曹 剣飛  
立命館大学 橋口 伸樹  
立命館大学 橋本 征二  
立命館大学 林 永周  
立命館大学 児玉 耕太

スマートフォン依存と生活満足度の関連性に関する考察

\*立命館大学 曹 剣飛  
立命館大学 林 永周  
立命館大学 児玉 耕太

加工が困難な部品の量産化によるイノベーション—株式会社タカコの事例—

\*立命館大学 木村 匡孝  
立命館大学 名取 隆

創薬バイオベンチャーのコア技術創出におけるビジネス人材の役割—知識情報移転の視点での事例分析—

\*立命館大学 藤森 茂  
立命館大学 名取 隆

ティックサイズ縮小における投資家意思決定の概念モデル

\*早稲田大学 丸山 博之  
東海大学 田畑 智章  
産業技術大学院大学 細田 貴明

経験価値層別によるスポーツ観戦の勧誘要因に関する研究

\*早稲田大学 小川 慶也  
東京大学 川中 孝章  
早稲田大学 大野 高裕

ライフスタイルの違いを考慮した、商品コンセプトの伝達がブランド・ロイヤルティに与える影響

\*早稲田大学 飯田 将之  
東京大学 川中 孝章  
早稲田大学 大野 高裕

両面性市場におけるC to Cビジネスの競合戦略

\*早稲田大学 高見 俊輝  
早稲田大学 大野 高裕  
東京大学 川中 孝章

Twitter上の宣伝情報拡散に影響するインフルエンサーの特徴分析

\*早稲田大学 後藤 孝輔  
東京大学 川中 孝章  
早稲田大学 大野 高裕

消費価値観とSNS・CMの購買プロセスに与える影響

\*早稲田大学 寺畑 勇希  
東京大学 川中 孝章  
早稲田大学 大野 高裕

ゲーム理論を活用した協調戦略における意思決定に関する研究

\*早稲田大学 石原 菜央  
東京大学 川中 孝章  
早稲田大学 大野 高裕

複合型スタジアムにおける施設構成に関する研究

\*早稲田大学 摩嶋 翼  
東京大学 川中 孝章  
早稲田大学 大野 高裕

割賦販売における個人の信用スコアの算定

\*東海大学 伊尻 萌  
東海大学 田畑 智章

サイト閲覧時間と消費者嗜好の多様性の観点から見た購買行動に対する要因分析

\* 東海大学 福井 悠斗  
東海大学 田畑 智章

オムニチャンネルにおける消費者購買行動に関する研究

\* 東海大学 福井 悠斗  
東海大学 田畑 智章

EC サイト上での消費者のレビュー行動と購買行動との関連

\* 東海大学 吉田 美勇士  
東海大学 田畑 智章

機械学習を用いた企業格付けの研究

\* 神奈川大学 張 安達  
神奈川大学 平井 裕久  
神奈川大学 松丸 正延  
神奈川大学 片桐 英樹

組合せ最適化に基づいた現場の制約を考慮した学校給食の献立作成

\* 神奈川大学 高橋 淳  
神奈川大学 片桐 英樹

財務情報とテキスト情報を統合した企業情報マイニング手法の提案 — 複数指標の連動性と係り受け構造の考慮 —

\* 東京都市大学 日出間 健  
東京都市大学 岡田 公治

トピックモデルを用いたX線探査衛星の日米欧成果比較

\* 日本大学 高宗 大起  
日本大学 水上 祐治  
宇宙科学研究所 大島 晶子  
中央大学 中野 純司

日本の芸能界における歌手のプロモーション戦略に関する一考察—テキストマイニングによる楽曲の特徴分析—

\* 日本大学 寺内 華  
日本大学 水上 祐治

アジア地域における国際空港の離発着能力強化と日本の取組

\* 日本大学 伊藤 慎太郎  
日本大学 水上 祐治

---

## 第 64 回全国研究発表大会論文集について

---

第 64 回全国研究発表大会については、講演論文集への掲載をもって当学会としての正式な発表業績となります。講演論文集へ掲載された発表者には、事前に振り込まれた参加費をもって、講演論文集を郵送致しますのでお待ちください。

発表者以外の会員の皆様が講演論文集の入手を希望する場合は、通常通り 3,000 円で事務局より郵送できます。事務局 (keieisys@jams-web.jp) までお申込みください。

なお、発送先は、学会に登録された送付先となります。変更を希望される場合は、学会事務局までご連絡をお願いします。

---

## 第 63 回全国研究発表大会の報告

---

第 63 回全国研究発表大会 大会実行委員長 毛利進太郎

日本経営システム学会の第 63 回全国研究発表大会は、2019 年 11 月 9 日 (土) ~10 日 (日) の両日に、統一論題「『価値の創造と経営システム』」のもとで、神戸学院大学ポートアイランドキャンパスにて開催されました。神戸学院大学ではちょうど 20 年前に前会長塩出省吾先生が有瀬キャンパスにて全国研究発表大会を開催して以来、2 回目となりました。

特別講演では株式会社神明ホールディングス代表取締役社長藤尾益雄氏にご講演いただき、基調講演では本学経済学部講師木暮衣里氏にご講演いただきました。

また 2 日間にわたる研究発表では、統一論題 2 件、研究部会 14 件 (うち学生発表 2 件)、自由論題 96 件 (うち学生発表 55 件) の合計 112 件もの報告が行われました。大会参加者は 184 名 (事前 149 名、当日 35 名)、懇親会参加者は 60 名 (事前 54 名、当日 6 名) となり盛況のうちに終えることができました。

大会開催に際しまして、会長の山下洋史先生をはじめ理事の先生方、発表者・司会者の皆さま、多くの会員の皆さま、学会事務局、本学の職員、学生スタッフのご協力ならびにご尽力いただきましたことに、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 2019 年度第 3 回理事会のまとめ

- I. 開催日時：2019 年 11 月 9 日（土） 10:30～12:00
- II. 開催場所：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス B 号館 2F B206 講義室
- III. 出席者：山下 洋史、上原 衛、金子 勝一、毛利 進太郎、板倉 宏昭、上西 啓介、近藤 高司、東海 詩帆、長野 寛之、永松 陽明、西口 宏美、深澤 琢也、水上 祐治、村山 誠、柳田 義継、藪内 賢之、石田 修一、今井 正文、大野 高裕、川中 孝章、今野 勤、谷崎 隆士、田畑 智章、中井 秀樹、林 誠、若尾 良男（監事）塩出 省吾（敬称略）
- IV. 審議事項
  1. 2019 年度第 2 回議事録の確認（東海）：2019 年度第 2 回議事録が報告され、承認された。
  2. 会員の入退会について（東海）：入退会の状況について説明がなされ、原案の通り承認された。これにより、2019 年 11 月 05 日現在、正会員 489 名、学生会員 179 名、特別会員 2 名となった。学生会員において、第 63 回全国研究発表大会の発表申し込み後に、発表キャンセルと同時に退会の申し出があった件について、会長より、なるべくこのような事象が起きないように、先生方にはご配慮していただきたい旨のお願いがなされた。
  3. 第 63 回全国研究発表大会の準備状況について（毛利）：第 63 回全国研究発表大会（開催校：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス、開催日：2019 年 11 月 9 日（土）・10 日（日）、統一論題：「価値の創造と経営システム」についての準備状況について、大会実行委員長の毛利先生から報告がなされ、承認された。
  4. 第 64 回以降の全国研究発表大会の準備状況について（永松）：説明がなされ、承認された。  
第 64 回（実行委員長：水上先生 開催校：日本大学生産工学部：5 月 23 日・24 日の予定）  
第 65 回（実行委員長：長平先生 開催校：立命館大学 開催時期：2020 年 10 月から 11 月で調整中。基調講演はオムロンの会長に依頼し、内諾を得ている状態）  
第 66 回 釧路公立大学にて開催する方向で曾我先生と調整中（山下）。特例として大会とともに、前日の金曜日に経営品質科学研究部会をセットで開催したい旨の報告がなされ、承認された。  
第 67 回 国内大会と国際大会との同時開催予定で調整中。前回の大会運営（国内大会と国際大会の同時開催）のノウハウを活かしたいため、柳田先生に WG の中心的役割をお願いしたいとともに、WG のメンバー選出についてもお願いしたい旨の報告がなされ、承認された（山下）。  
広報委員会より、第 64 回大会の案内について、Jams ニュースの発行が GW の中日になることと、HP への掲載を近日中に実施することについて補足説明された（今井）。
  5. 「JAMS 40 周年記念学会誌特別号 WG」（仮称）の設置と「JAMS40 周年記念国際大会特別表彰 WG」（仮称）の設置について（山下）：説明がなされ、承認された。  
特別号：編集委員長水上先生と調整の結果、学会誌記念特別号を通常の学会誌（3 回/年）とは別に発行すること、および、特別号の原稿については、各研究部会で主に活動している先生方へお願いする方向で調整したい旨の説明がなされた。また、特別号に関する WG 座長の金子先生を中心に、配付資料に記載されている先生方に WG メンバーをお引き受けいただき、特別号の発行時期については、2021 年度の秋期大会（国際大会との同時開催）の場で配布したい旨の説明がなされた。  
国際会議：国際発表の特別表彰に関しては、審査の負担が大きいため、プロシーディングにより事前審査をし、当日表彰をする方向で考えている。今後、座長の毛利先生を中心に、表彰の選考方法と日程を検討していくことが承認された。
  6. 細則類の改正について（柳田）：配付資料（規定類一覧表）の通り説明がなされ、承認された。
  7. その他：
    - ①横幹連合理事推薦の件（山下）：板倉先生を理事に推薦したい旨の報告がなされ、承認された。
    - ②新たな研究部会の立ち上げ（田畑）：現在活動中（東海大学）の勉強会を研究部会に移行したい旨の説明がなされ、研究部会開設の手続きが完了すれば、2020 年 1 月に立ち上げることで、事前承認された。
- V. 報告事項
  1. 学会賞・論文奨励賞の選考手続きと期間について（深澤）：学会賞・論文奨励賞の選考手続きと期間について報告された。
  2. 臨時表彰委員の追加について（深澤）：臨時表彰委員の追加について報告された。

---

## 2019 年度第 4 回理事会のまとめ

---

- I. 開催日時：2020 年 3 月 4 日（土）～3 月 14 日（土）メール審議
- II. 審議事項
  1. 2019 年度第 3 回議事録の確認：2019 年度第 3 回議事録が報告され、承認された。
  2. 会員の入退会について：入退会の状況について報告がなされ、原案の通り承認された。これにより、2020 年 3 月 3 日現在、正会員 493 名、学生会員 172 名、特別会員 2 名となった。
  3. 新規研究部会の立ち上げについて：「データサイエンスと価値創造研究部会」（主査：椎原正次先生，幹事：皆川健多郎先生）の設立申請がなされ、承認された。
- III. 報告事項
  1. 2019 年度活動報告・2020 年度予算と 2020 年度総会議案書の作成日程と作成依頼（総務委員会・財務委員会）：各委員会の委員長と各支部の支部長に、2019 年度活動報告・2020 年度予算と 2020 年度総会議案書の作成依頼がなされた。
  2. 第 63 回全国研究発表大会の学生優秀賞について（表彰委員会）：第 63 回全国研究発表大会の学生発表優秀賞の受賞者 8 名について、報告がなされた。

---

## 2019 年度第 5 回理事会緊急審議について

---

- I. 開催日時：2020 年 4 月 8 日（水）～4 月 10 日（金）メール審議
- II. 審議事項
  1. 第 64 回全国研究発表大会について：第 64 回全国研究発表大会の中止と、講演論文集の掲載および発表業績、参加費について、下記の案が提出され、原案通りに承認された。
    - ①新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大と緊急事態宣言をふまえ、第 64 回全国研究発表大会を中止とする。
    - ②発表者に関しては、講演論文集への掲載をもって、当学会としての正式な発表業績とする。
    - ③ただし、発表者が講演論文集への掲載を辞退する場合は、事前に振り込まれた参加費を返金する（講演論文集を編集する前に、事務局より発表者に希望を確認する）。講演論文集への掲載を希望する発表者には、事前に振り込まれた参加費を返金しない。
  2. COVID-19 を考慮した対応策について：
    - ・総会・評議員会・理事会・各種委員会について総会と評議員会を第 65 回全国研究発表大会（立命館大学）に延期し、第 64 回全国研究発表大会で予定していた対面による理事会と、表彰委員会以外の各種委員会については中止とする案が提出され、原案通りに承認された。
    - ・学生発表優秀賞について第 64 回全国研究発表大会においては、特例として講演論文集の原稿のみで「学生発表優秀賞」を選考し。選考を迅速に行うため、表彰委員の補充を検討する案が承認された。
    - ・大会参加費について第 64 回全国研究発表大会の大会参加費について、下記の案が提出され、原案通りに承認された。
    - ①第 64 回全国研究発表大会については、発表者以外には事前の振り込みをしないよう案内してあるため、基本的に発表者以外への返金は発生しない（発表者の参加費については、上記の 1-③の通り）。
    - ②発表者以外が講演論文集の入手を希望する場合は、通常通り、3,000 円で事務局より郵送する。

---

## 教員公募のご案内

---

- 新潟国際情報大学経営情報学部では、以下の教員（2 名）を募集しております。
1. 経営情報学部 経営学科  
担当科目：「経営情報論」及び経営関連科目、「基礎ゼミナール」、「応用ゼミナール」、「研究ゼミナール」等の専門科目  
募集人員：1 名（教授、准教授、講師のいずれか）

着任時期：2020年9月1日（2021年4月1日も可）

応募締切：2020年6月15日（月）必着

詳細：提出書類等詳細については、下記をご参照ください。  
新潟国際情報大学 経営情報学部 経営学科 教員公募  
[https://www.nuis.ac.jp/pub/p01\\_1586756635503.html](https://www.nuis.ac.jp/pub/p01_1586756635503.html)

## 2. 経営情報学部 情報システム学科

担当科目：「情報プロジェクト特論」、「情報産業」、「コンピュータシステム」および学部関連科目として「基礎ゼミナール」、「情報処理演習（含. プログラミング教育）」、「専門演習」、「卒業研究」等の演習関連科目

募集人員：1名（教授、准教授、講師のいずれか）

着任時期：2021年4月1日

応募締切：2020年6月15日（月）必着

詳細：提出書類等詳細については、下記をご参照ください。  
新潟国際情報大学 経営情報学部 情報システム学科 教員公募  
[https://www.nuis.ac.jp/pub/p01\\_1586755616153.html](https://www.nuis.ac.jp/pub/p01_1586755616153.html)

## 入会者リスト

(2019. 10. 5～2020. 4. 17)

### 1. 正会員入会者

氏名	所属	氏名	所属
中村 元彦	千葉商科大学	宮崎 卓	トヨタ自動車(株)
佐野 睦夫	大阪工業大学	金子 啓子	大阪経済大学
小山 恵美	京都工芸繊維大学	角井 健太郎	(株)日立製作所
池田 大輔	リッパ―建設	岡田 公治	東京都市大学
染谷 厚徳	首都高速道路(株)	八代 華代子	事業構想大学院大学
高坂 一郎	(学)産業能率大学	宇田川 博文	明治大学大学院

### 2. 学生会員から正会員へ変更

氏名	所属
丸山 博之	早稲田大学大学院

### 3. 正会員から学生会員変更

氏名	所属
加藤 大樹	東北大学

### 4. 学生会員入会希望者

氏名	所属	氏名	所属
姜 依凡	明治大学	石原 菜央	早稲田大学大学院
王 岳崢	アジア経営管理修士研究所	寺畑 勇希	早稲田大学大学院
藤森 茂	立命館大学大学院	高見 俊輝	早稲田大学大学院
高橋 淳	神奈川大学大学院	飯田 将之	早稲田大学大学院
小川 慶也	早稲田大学大学院	伊藤 綱康	釧路公立大学
木村 匡孝	立命館大学大学院	長太 あゆみ	東北大学大学院
摩嶋 翼	早稲田大学大学院	安平 宣夫	東北大学大学院
日出間 健	東京都市大学大学院	張 安達	神奈川大学大学院
佐藤 孝則	立命館大学大学院	後藤 孝輔	早稲田大学大学院



## 日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3 バラードハイム703  
TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185  
E-Mail: keieisys@jams-web.jp